

JCD KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers

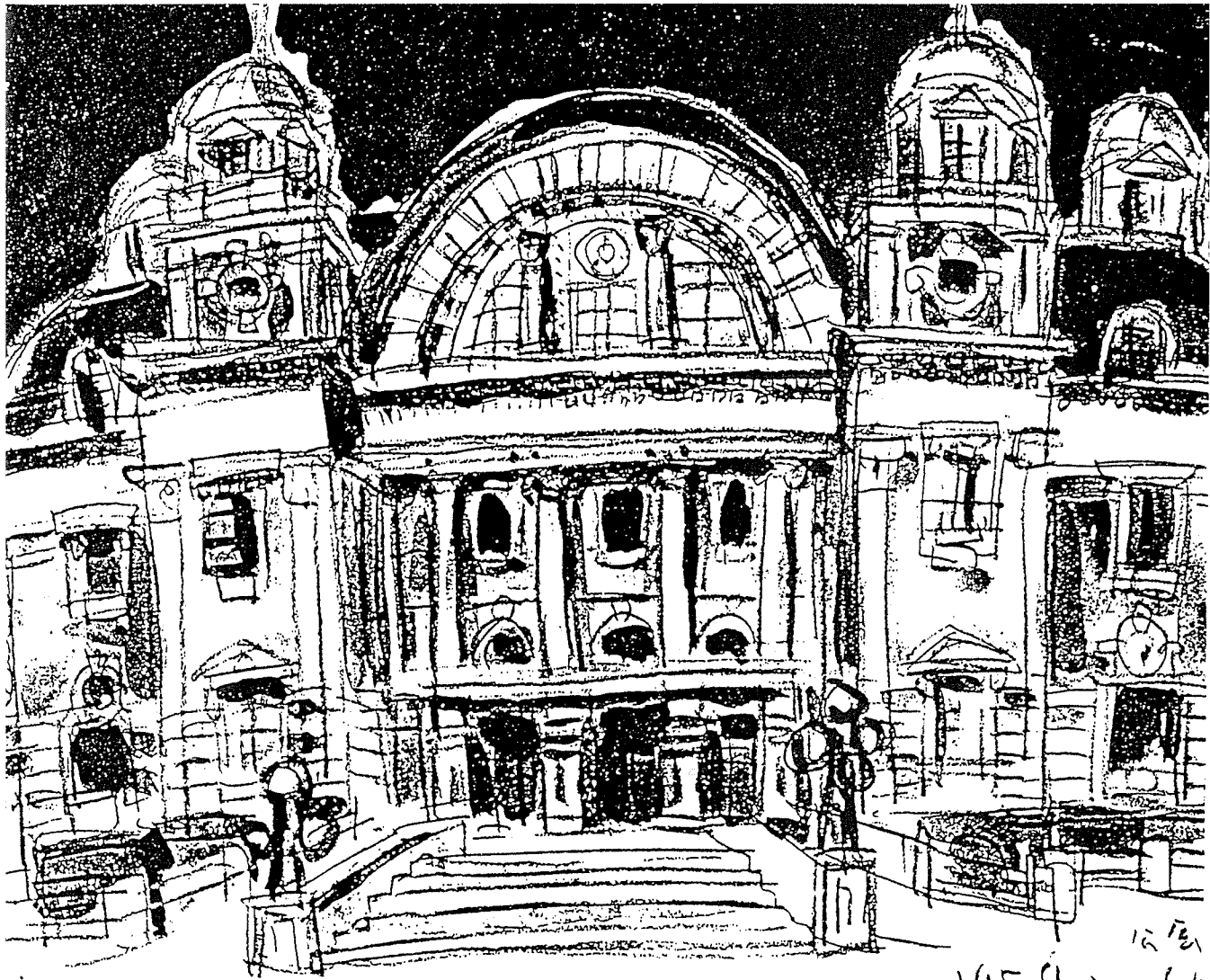
社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会

〒550 大阪市西区南堀江1-26 南堀江スカイハイツ1201号

☎ 06-543-0680

平成2年7月

第22号



12/15
1959 M.O.S.U

目 次

| | | |
|--------------------------|-------|-------|
| ■ 中の島公会堂 | 大菅 満義 | 表紙 |
| ■ 〔'90年度 関西支部集会〕 京都 錦水亭 | | 3 ~ 4 |
| ■ 「船場と島之内」 | 大菅 満義 | 5 |
| ■ 「花と緑の博覧会」 | 太田 眞昭 | 6 ~ 7 |
| ■ 企業紹介〔近藤忠商事㈱〕 | 三浦 一造 | 8 |
| ■ 衣 「インポートラッシュ」 | 猪多 勉 | 9 |
| 食 イタリア料理「サバティエニ」 | 青原 康子 | 10 |
| 住 「ハイテック住宅考」 | 岡 修作 | 11 |
| 遊 「壮年のアウトドアライフ」 | 杉山 栄一 | 12 |
| ■ 大正の星逝く | 太田 眞昭 | 13 |
| 「山川先生の思い・孤独の闘い」 | 要 信行 | 14 |
| ■ 委員会だより | | |
| 第76回 J, C, Dゴルフコンペ | 磯崎 敏男 | 14 |
| 委員会報告（研究委員会・組織委員会・情報委員会） | | 14 |
| 編集後記 | 岡 修作 | 14 |

広告索引

| | |
|--------------|-----|
| 小泉産業株式会社 | 表紙裏 |
| 株式会社 キノシタ | 4 |
| 東洋リノリューム株式会社 | 11 |
| 近藤忠商事株式会社 | 15 |
| 松下電工株式会社 | 裏表紙 |



クリエイティブな情報発信基地、OPEN。

〒652 大阪府堺市東区新町4丁目2-10
 近藤忠商事の新しいインテリアデザイン情報発信の拠点を構築
 〒652 0777 (TEL) 12333
 ■北米建築設計事務所「エック」が設計・監理
 ■設計事務所「エック」が設計・監理

「KOIZUMI」K&Dのショールーム/イズム・エル 大阪
 大阪・箕面に照明・家具・キッチンをトータルに展開した、くらしのショールーム/イズム・エル 大阪がオープン。いままでとは異なる、体験を重視したショールーム構成で、空間クリエイターのご要望にも充分にお応えできる情報を完備しています。ぜひ一度、お越し下さい。

Koizumi Living Showroom Osaka
IZML
 Osaka

小泉産業株式会社

代表取締役 部長 0671 88001
 〒654 大阪府堺市東区新町4丁目2-10 長年ビル
 電話 0671 88001
 〒652 0777 (TEL) 12333

'90年度 関西支部集会

京都 錦水

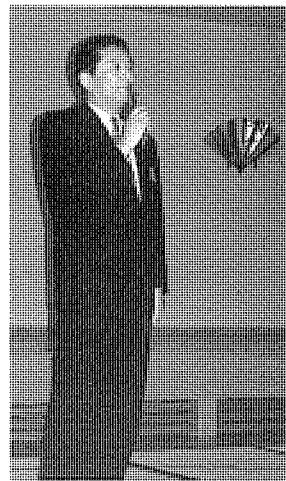
記 情報委員会 岡

平成2年4月7日(土)組織委員会のお世話で、竹の子料理で有名な「錦水亭」の竹生園にて「'90年度 関西支部集会」が行われました。ここは京都の西のはずれ長岡京市で桜の名所でもあり、又、近くには天満宮もあり京都情緒豊かな街です。この名物料理「竹の子料理」でその趣も一段と揚がりました。本部の高村理事長を始め本部の幹部や各支部の支部長殿もご出席戴き、我が支部の仲間約70名が集い竹の子料理に舌づつみを打ち、各会員の会話も賑やかに会は進行了ました。

司会は、組織委員会の蔭山委員が務め、大菅

支部長の挨拶から始まり、30周年への取り組みについての話しがあり、引き続いて高村理事長の挨拶では、21世紀に向かってJCD活動と発言をと、又、Man To Manで原点にかえて人間関係を考え、重視するなどの示唆に富むお話があった。乾杯は、賛助会員の松下電工の池島氏の音頭でなされた。

その後、北海道支部の新支部としての挨拶や各支部の新支部長挨拶、新会員の紹介、初の女性理事の紹介、賛助会員の挨拶など続きました。そんな楽しい和やかな一時を過ごし、中締めは赤松常任理事が務められお開きとなりました。 満足 満足



大菅支部長挨拶

錦水亭(竹生園)のご紹介 創業 明治14年(1881)の老舗

京都西郊の長岡(長岡京として10年間、都があった)に位置し、錦水亭の名称は山階宮ヤマシノの命名によります。八条宮によって名づけられました八条ヶ池を取り入れて大小の数寄屋造りのお座敷が点在し、老松、つつじ、桜にお

おわれた自然の大庭園と共にその景観は素晴らしい限りです。

錦水亭竹生園はバス、トイレ付き客室と百畳敷の大広間、大浴場を持ち庭園は筍と竹林の美を觀賞していただく為ほり筍と、たて筍を取り取り入れ対照の妙を造成しました。

(パンフレットより)



観談風景

たけのこ料理について



早朝掘り出した「たけのこ」の土が乾かないうちに手早く皮をむき、大釜で2時間余りゆがきます。さらに清水にさらしてあく抜きをし、家伝の調理法によってつくりあげる「たけのこ料理」は日本一として広く全国に知られ渡っています。

たけのこ料理のコースは、木の芽あえにはじまり、お刺身、若竹すまし汁、じきたけ（登登商標）、田楽、むしたけ、てんぷら、焼竹、酢の物、たけのこご飯と「たけのこ」一式でお献立が組まれています。歯にあたってサクッと割れる柔らかい香りゆたかな「たけのこ」のお料理は、春の味覚の王者と申せましょう。お土産にたけのこの佃煮があります。

(パンフレットより)



abord — 永遠の定番 —

KINOSHITA 株式会社キノシタ

●本社ショールーム 〒556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 TEL.06 (644) 5541代
 ●東京支店 〒123 東京都足立区鹿浜5-5-18 TEL.03 (855) 4711代
 ●名古屋営業所 〒458 名古屋市緑区倉根2丁目264 TEL.052 (624) 8660代
 ●東大阪商品管理センター ●商品管理センター-出雲工場 ●出雲営業所



—ヨーロッパの新しい風— **RES NOVA 21**

RES NOVA 21 Co.,Ltd.
 ADDRESS: Matsushita IMP Building 2F 1-3-7 Shiromi, Chuo-ku, Osaka TEL.06(943)5193

「船場と島之内」

大菅満義

古くい大阪の話、私は大阪で生れ大阪で育った。家は元禄時代からの大阪天満で商いをしておりました。だんだんと大阪らしいものが失なわれて行く今日です。大阪弁にしても死語になった言葉も多く、この情報化の時代日本各都市が画一化されそれぞれの町の個性がなくなり、皆東京風になって来ている。大阪の町の地名も地名変更でかなり変り、それぞれの町の表情もなくなって来ました。船場や島之内の地名もうどん屋や菓子屋の店名に見るぐらいになりました。他の地域から来られた方、若い方など古くい大阪の事などあまりお知りにならない方も多いので、「おばちゃん」に聴いた話などから大阪の古くいことをお話ししたいと存じます。

船場や島之内がどうして出来たか、どの地域を言うかですが、大阪の地形は東に上町台地があり高く、西に低い東西に傾斜した地形です。その東からの傾面の水はけの排水溝として東横堀が掘られ、つづいて西横堀を掘って大川（淀川）へ流したのです。又この東西の両横堀を東西に結んで木津川から大阪湾に流れるように掘られたのが、道頓堀、長堀です。

この東西の横堀と長堀、道頓堀で囲まれた地域に町がつけられました。長堀から北へ大川までが船場であり、長堀から南へ道頓堀までが島之内となりました。又この旧市街内は完全な碁盤型で我国で一番整然とした町割となっておりまして京都よりも東西南北に通っているのです。

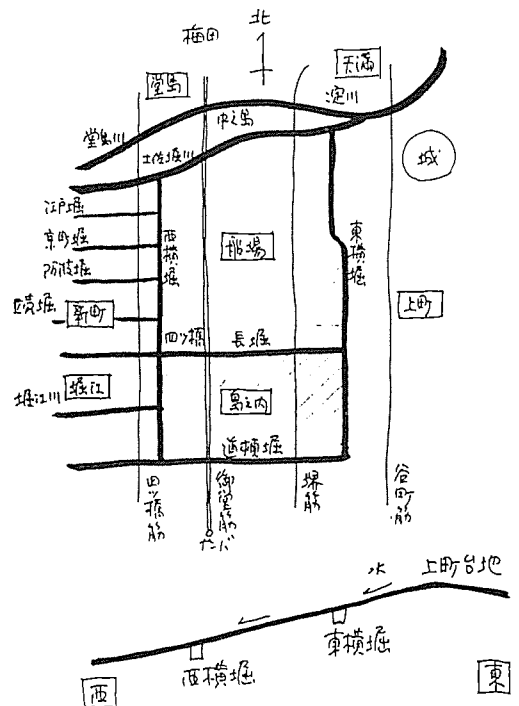
碁盤割の町—大阪、熊本、名古屋、静岡等
格子割の町—堺、高田等その他大部分はこれ

この船場、島之内に続いて開発されたのが、西横堀から西側、この低地に堀を掘ってそれで埋立てられたのが、江戸堀、京町堀、阿波堀、立売堀、であって最後に堀江川が掘られ埋立てられて堀江の町が出来ました。その多

くの堀川が商業の町大阪の水運に利用されて全国からの物産が集まり、商都としての繁栄の元になったものです。しかし戦後これらの堀は大部分埋立てられ水の都の姿が消えたのであります。今は高速道路として利用されておりますけど。

私が子供の時おばあちゃんが迷子にならんようにと教えてくれたものに、大阪の町名を歌風に詠んだもので「北浜、北浜、今橋、高麗、伏見、道修、平野、淡路、瓦、備後、安土、本町、本町、唐物、久太郎、久太郎、久宝寺、久宝寺、博労、順慶、安堂寺、塩町、長堀」と節をつけて暗記させられました。これは東西の町名ですが、南北にも「淀屋、心齋、井池…」と筋名を詠んだものもありましたが今は忘れしました。京都では今も「姉さん、六角蛸錦…」と歌われておりますが、大阪は消えてしまいました、おばあちゃんは寺屋で習ったとか、今で云う地理の時間だったのでしょうか。

(上記の町名は船場の町を詠んだものです、又、東横堀を越えて東側は、内淡路町、内平野町、内本町と内が付いた町名になってます。)





「街のエリア」メインストリート

自然と人間の共生「花と緑の博覧会」 花博ウォッチング

写真と文／太田眞昭

国際博条約に基づいた今回の「花と緑の博覧会」は規定により183日の会期を去る4月1日から9月30日と決め、今や折り返し地点に近づこうとしています。皆様方関西地域に在住の方は一度は会場へ足を運ばれたと存じますが、意外と未だ見ていない——近くでいつでも行けるから——といっている間に終わってしまうことすらあります。

メインテーマが「自然と人間の共生」を中心に展開されているこの会場内では、花や緑という生命をもった、又育生しつつ展示をせねばならない今迄になかったディスプレイでもあります。私もオープン時から4回、会場へ足を運んでおりますが、或るテーマを持った調査研究のためで、会期終了まで又何回も出かける予定です。6ヶ月の会期中、日本は四季を持つため、春から夏、そして秋にかかる最もいろいろな花と緑が育生されやすい時



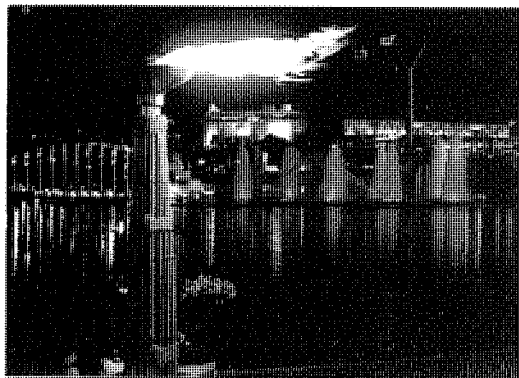
会場サイン



「花の谷」茶畑を表現した花の植えこみ

期を選んでの会期は展示主体の花と緑が季節によって取り替えられ、その環境即ち景観が変ることです。すべての展示物を観賞するのは困難ですが、会場内の地域にその環境特性を持ち、ターゲットを合わせてお出かけになることを、お推めいたします。

丘陵地であるが中央に池をとりこんだレイアウトは花と緑には水は欠かせないし、傾斜地には風が流れます。更に昼と夜の二面性のある会場の風景が拡がり、季節、時間による環境変化は最も魅力ある空間演出の一つではなからうかと思えます。水と光と音が奏でる展示は一つの屋外で見るインパクトの強い環境演出かもしれません。水のスクリーンに投影されたレーザーの動きなど、多くの演出手法は常に新しいものへの試みを見ることが出来ます。又パビリオン内の展示手法も新幾軸を数多くみることができ、これらの技術をもって受け手の観客が如何なる驚きと感嘆そして情報を受けるのかを客観的に考察することが、商環境設計へのヒントにもなるかと思えます。



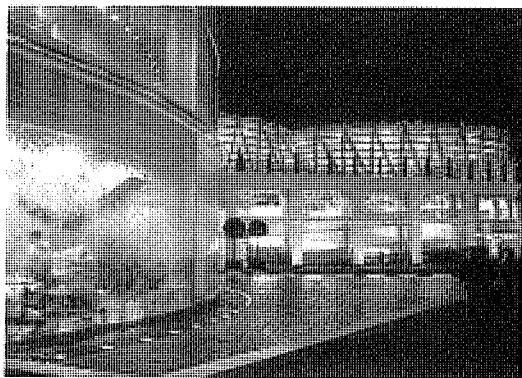
「いのちの池」夜景



「街のエリア」企業パビリオン

過去の日本万博、つくば博や沖縄、神戸博のビッグにも見られなかったハイテクも要所には数多くみられますが、やはりそれを応用して展開するソフトが発達しハイテクは演出の裏方にまわって楽しい展示が見られます。基本は1967年モントリオール博の流れがくみとれ皆様、何度もお出かけになることが必要でしょう。

好天の日、元気な年輩のご夫婦達が、花壇の中で語らい、そして食事をするだけで、満足な体験をしておられます。会場を一目でみることはとうてい不可能で、昼夜の眼にうつるロケーションを楽しく味わっていただきたいと思えます。いろいろと入場者などのアンケートやデータで、如何に多様な人達が博覧会を楽しみにやってくるか？ 今しばらく大型の博覧会は開催されませんが、今后は信州博や東京国際都市博、世界文化大博覧会等が地域地方博として開催されますが、はたしてどのようなデザインが生れるのか、楽しみです。



国際展示場「水の館」

ハウスブランド

SELKON[®]



(Selected by Kondo—Chu)

近藤忠のハウスブランド「SELKON」このブランド名をご存じの方は多いと思います。大正2年、ファッションの中心地神戸に日本初の室内装飾品製造業として誕生。業界を切り開いたその歴史は、我が国近代インテリアの歩みそのものとも言われています。「SELKON」の商品アイテムは幅広く、多岐にわたっています。カーテン・カーペット床材・壁装材などのファニッシング、テーブルクロス・ベットのカバーなどのアクセサリ・リネンズ等々。およそ4万アイテムにも及ぶ商品構成でほとんどのインテリア製品をカバー。現在セルコンの名は、インテリアのあらゆる分野にゆきわたっています。ファッション、デザイン、コーディネートと広い視野で、企画開発から小売まで見渡すマーチャンディングを展開する近藤忠は、「住宅産業とファッション産業の両性格を備える」欲張った企業を宣言します。近藤忠の商品戦略は、まず消費者のライフステージを設定することから始まります。ターゲットを年代別に分類し、

近藤忠商事株式会社 大阪支店
 建築販促部 三浦一造

それぞれの項目をクロスさせる。そして、価格ゾーンや流通チャネルの特性を考えながら、きめ細かくブランド展開していきます。例えば、40代以上のグランドライフには、高級感のあるデザインとブランドイメージを備えた海外提携ブランド品を。また、20代後半から30代にかけてのニューファミリーライフには、新しいトレンドを先取りしたニュートラルカラー、シンプルデザインのオリジナルブランドを提案しています。ニーズの多様化、プライベート化に対応するきめ細かな商品戦略は、様々な感性やライフスタイルとトレンドとのマトリックスによってはじめて構築されます。近藤忠のブランドは、単に製品を区別するための名称ではありません。それぞれが、ターゲットや、コンセプトを内在した「個」のステージに対応する戦略的商品であり、一つのブランドが、一つのライフスタイルを主張、提案しているのです。

海外提携デザイン キャラクターブランド



valentino garavani

洗練された大人の感性を刺激する高品位・高価格ブランド。優美性、有用性、信用性を求め、金銭面でのゆとりと商品価値を見分ける目を持ったライフステージに、心地よい満足感（フラタリング）を与えるトータルインテリアです。

bassetti

ターゲットは隠やかで都会的センスを求めるニューファミリーライフ。清潔で洗練された個性あふれるデザインによって、ボディケアとマインドケアを何よりも大切にしたい人々に快適なインナーライフを提唱します。

BIBA

PARIS

都会派ニューファミリーライフのフロアリビングを意識したライフスタイル・テイストブランド。シンプル&ベーシックをデザインテーマに、洗練されたアーバン感覚を提案します。

Crepe Doll

OL、ヤングミセスを対象にした自然派、カンントリー志向ブランド。自然の香りと素朴な手作りの優しさに囲まれた、明るくさわやかな暮らしを提案します。

OLD NEW

クラシックなスタイルをインテリアアクセサリに表現するプレステージブランド。「伝統と遺産の継承」をブランドコンセプトに、「古くて新しい」トラディショナルライフを提唱します。

インポートラッシュ

猪多 勉

日本において、洋服が定着してから今日まで'80年余り、ヨーロッパの服の歴史に比べるとほんの微々たるものである。しかしこの80年間に日本は経済成長と共に服飾業界にも大きな変化をとげる事になった。

1960年代の半ばには膨れ上がる一方のファッ



ション市場に量としてファッションを供給するメーカーとしてアパレルメーカーが登場、これは既製服ファッション草創期といえる時期でもある。

1970年代に入りファッションは本格的な質の時代を迎える事になり、パリのデザイナーズメゾンが続々と日本に進出、ステータスとしての既製服が大きな市場を作り上げようとしていた。日本のアパレルメーカーはその素材の使い方、技術面を吸収し地位を格段に飛躍させる事になり、加えて流行情報、目まぐるしく変わわるファッションデザインが日本のアパレルメーカーをいっきに大型化させていった。



しかし、そうした質と流行のファッション市場にもやがて陰りが出てきた。70年代に入って登場したデザイナーズメーカーがアパレルメーカーによって主導されてきた。質と流行のファッション市場に転換期を迫る事になる。DCメーカーは以前の価値感に異議を唱える事から出発し、素材の高級感、縫製のよさに代わる衣服の価値としてデザインとしてのクリエイティビティーを対置させた。



これはある意味において国際的な時代の準備期間又は目覚めでもあったといえる。素材、技術、クリエイティビティーこの両方を同時に求めるべく世代ニューリッチはさらに本物志向、高級志向へと……………。

東京青山「マリナーブルボン」

Direction by WORLD

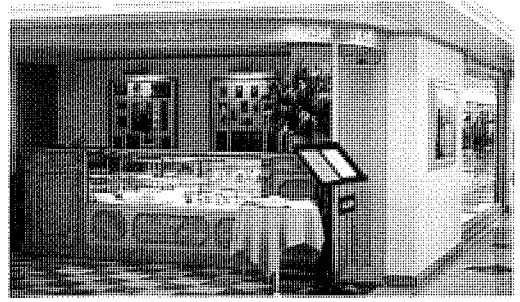
イタリア料理「サバティーニ」

青原康子

この5月5日、大阪梅田の阪急三番街が20年ぶりの改装工事を終え、オープンしました。工事期間4ヶ月間で、地下2階から地上1階まで、約230店舗のゾーニングからの大改装です。大阪中（いや、関西一円）の内装業界に、人手不足やら、コスト高騰の多大な影響を与えたのは、御存知の通りです。それはともかく、仕事柄、外食の多い一利用客としての私にとっては、帰り道にあるターミナルのショッピングセンターが、新しく生まれ変わるといことは便利でもあり、一つ楽しみが増えることでもあります。



この度は、私の設計した店舗もありますので、工事期間中から何度となく現場に入り、刻々と移り変わる様子を見ていましたが、その時から、密かに出来上がるのを楽しみにしていました一軒の店がありました。他の店舗が突貫工事でドタバタしている時、もうもうとした埃の中で10日間以上もかかって、2人の外人の職人さん（アーティスト）が壁面にペインティングをさしているのを見ていたからです。出来上がってみると、そこはイタリア料理のサバティーニというお店でした。



最近フランス料理にとって替り、イタリア料理がブームとなっていると言われていています。今、私が興味を持っているのは、フランス料理店のこれからのあり方なので、何故イタリア料理がブームとなっているのか、オープン以来気にして見えています。食事時には外まで客が並んで待っていますし、ウィークデーにもドレスアップした女性客を集め、はなやかな雰囲気を出しています。

心齋橋付近にも雑誌に取り上げられている有名店が4～5軒ありますが、いずれもよく流行っているようです。内装デザインも、始めはスタッコ壁の田舎家風のものが多かったのですが、イタリアの斬新な家具の普及やら、海外旅行者の増加に伴って、多様化して来ています。

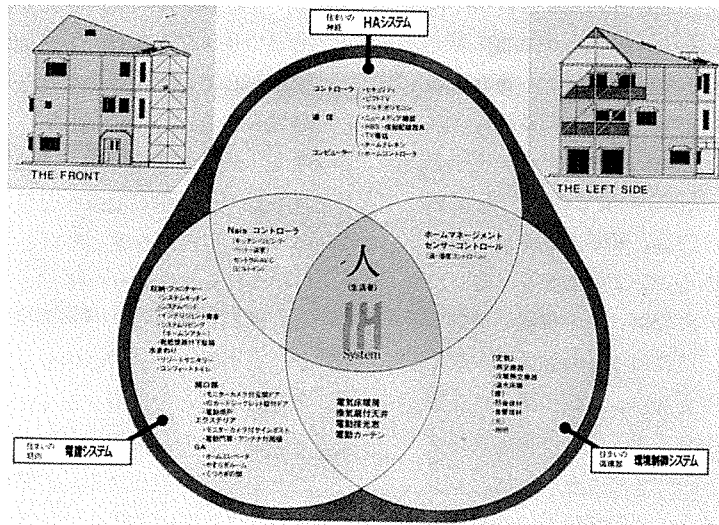
サバティーニの内装はアンピール風をモダンにアレンジしたデザインで、格式のある高級店の出店のイメージを良く出していると思います。料理も「サバティーニ・ディ・フィレンツェ」の味と同じ、という本格派イタリア料理です。サービスもイタリア人が交じり本格的です。しかし、料理の値段を見てみると、ア・ラ・カルトで頼めば手頃ですし、昼のランチはセットでも¥1,000～¥1,500と、雰囲気からすると非常に安く感じられます。このあたりが、女性客に受け入れられている点だと思われます。イタリア料理店は、スパゲティだけの店、ピザの店などから、本格的コースまで楽しめる店まで業態が多様化し、着実に日本の市場に根を下ろしているのを感じます。このあたりが鍵になるのかもしれない。

ハイテック住宅考

岡 修作

最近、住宅のハイテック化の話が増えてきている。「脳宅」「ロボット住宅」「ホームオートメーション」等々エレクトロニクス応用の未来志向住宅のニュースが多くなって来ている。松下電工でも2年ほど前から「インテリジェント・ハウス」なる実験住宅を作って専門家へ公開している。その考えかたは下図で分かるが、即ち住宅の快適機能をコントロールする頭脳部分であるコンピューターやコントロール機器、各種司令を伝達する神経系、司令に基づき作動する各種機器の筋肉系、又それらによって快適環境を演出コントロールする循環機系など人間の意識上でコントロールするものと、人間の意識下で安全管理や環境制御を行うなどがなされる。こま

で徹底した住宅はまだ先の事と思われるが、これらの出てくる社会背景は………「高齢化社会と安全」「多忙化社会の家事合理化、触れ合い」「環境条件の悪化」「情報化時代のインテリジェント化」などが有り、いずれこのような住宅が必要になってくる。これらをよく見ると人間活動や生活、又大きくは社会や世界と住まいの空間、人間行為が繋がった情報の流れの動きにほかならない。しかしハイテクすぎて人間がスポイルされないことを!! その為にも人間本来持っている挑戦的な精神や、優しい思いやりの精神、逞しい肉体など、自分にも、人にも、環境にも甘えない事が大切になってくる。使い切ってこそインテリジェントなのだ。



国産初
原液着色ナイロン
タイルカーペット

グラントアート

GA-8000

全厚 7mm×500mm×500mm 上代10,000 /㎡

特徴

- イタリアのカラーデザイナー クリノ・カステッリ氏によるニューカラー
- 褪色しない ● 漂白剤にも強い ● 流し貼りが出来る

西日本営業開発部 06-943-1645
大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル7F

東洋リリウム株式会社

壮年のアウト ドアーライフ

杉山栄一

五十路を越した最近の私の遊イングであるが、もう飲み歩き、食べ歩きの歳でもなく、少しでも健康なことをとこの二、三年前よりオートキャンプを始めてみた。

そのためにデリカ4WDを買い込み、これにキャンプ用具一式を積み込んで出掛けるのである。これは私が大学時代に隣に住んでいたアメリカ兵の将校と一諸に、米軍のジープで滋賀県の比良山にハイティングに何度か行った事がある。当時日本車は木炭車。4駆のジープは、石だらけの山を登り、谷川を渡る、何とすごい事。今振り返ってみると彼らはいかにも、アウトドアーライフの遊び方、楽しみ方が上手で、既に道具や専門誌が多く出廻っている。昨年11月であったが、事務所の連中に、さあ・次の土、日キャンプに行くから、ついてこいよと宣言し、用意に入った。普段まったく家事の事などしない私も「何かと小まめに動くわね」と家内に皮肉られながら、細かく書き出したメモにそって出来た荷物を愛車に積み込み、さて仲間の車と二台で出発、一路京都東インターより165号線を北上し琵琶湖中頃で右折、近江舞子の浜へ出る。夕方6時頃、初冬の湖畔は人影もなく、静かなものである。いよいよ腹もへるし、早く夕食の用意をしなくては。車の位置、テントの設営、この辺りは、比良おろしの強い風が吹くのを考えにいれ、水際をさけ、山側に風よけを兼ねて車を配置する。ホワイト・ガソリンのランプが明々と辺りを照らす。11月ともなれば、しっかり冷え込むこの辺りも、その日は幸いにも暖かく気持ち良いぐらいの気温であった。昔はどこの水でも飲料水として使えたものが、最近はそうはいかず、かといって折格自然に溶け込みに来ているのだから、出来るだけ山の水を使うことにしている。皆が用意している間、車で161号線を横切り比良山を登る。7時ともなれば山はもう真っ暗、横に谷川を見ながら凹凸道を上る。4駆で走る快感は、やってみた者でないと分からない。車は45度も傾いたように思う。もう少し上に滝が有ることも、道が狭くなることも、よく承知しながら

ら登る。滝の瀬に車を止め、持ってきたポリタンクに冷たい水を汲む。急いで下っていった木の間に、ライトに照らされて何かが光って走る。タヌキだ。テントのまわりでは焼き肉の用意は完了。今汲んできた水で飯を炊くだけだ。もう、月は東の湖上にぼっかりと出て、水に写り、後ろの高い山並みが何とも墨絵のようである。風呂屋より調達した、焚火がいきよよく燃え続ける。ジュージュー焼き肉が焼ける。乾杯、ビールの冷たさが一気に喉にしみわたる。大自然の中で食べる食事は何とも金で買えない。これがあるからオートキャンプはやめられないのである。食後はキャンプファイヤーを囲み焼酎の廻し飲み。酔うほどに、一人二人とテントの寝袋に帰っていく。最後に自分一人残り、砂浜に大の字になり、小さな水の音を聞き、頭上に来た月を見ながら、飲んでみると、今まで生きてきた自分とは別の世界に居るような感じがして、比良山から吹きおろす風が、やけに心にしみる。

さて、先月の連休には、赤松店舗の野村専務と友人3人で、新穂高温泉へ温泉キャンプに行くことにした。奥飛弾を越した頃から雨は降るし、白樺の山々は五月というのに、まだまだ雪が残っている。穂高のあちこちとキャンプ地を求めて走ったが、この寒さと、雪の中では、まず、キャンプは無理とのことで民宿をとった。諦め切れず、いつもの強引さで、蒲田川上流でテントを張り昼食のバーベキュー。しかし、谷間の強い風に、アラレは降るはで寒い寒くないの。夕方、民宿へ帰り露店風呂へビールを持って飛び込む、まあその気持ちのいいこと、天国とはこの事だ。その頃は天気は晴れ、月も出る、雪はある、遅咲きの桜ありその夜は三人で飲んだくれたことは言うまでも無い。てなことで、当分はこのオートキャンプ&温泉は、止められそうにないが、そのうち、これプラス。カヌーをやってみたいと思っている昨今である。

ヒマさえあれば、アウトドアーの雑誌を開いている。

大正の星逝く

太田眞昭

元、JCD副理事長、山川勝彦が死去された旨の報せは去る3月7日、自宅へ電話で送られてきました。本年1月5日検査入院の知らせをおききしてわずか2ヶ月余で、永遠のお別れとは、^{はかな}夢さをつくづく思いました。

元理事長松田逸郎様の追悼をJCD-KAN-SAI特別号として編集させていただきつづいてここに山川様の追悼の文を綴ることは度び重なる不幸な出来ごとで寂しい限りです。

大阪市立高等工芸を卒業され、世界第2次大戦の時、終戦長くソ連に抑留されて、デザインと技術を持った氏は、オンドル(温突)の修理や苦しい労働、食糧不足の栄養失調で倒れる戦友をみてこられ、やっとの思いで復員、そして大丸心齋橋店に入社、百貨店の店づくりとその腕をふるわれ商環境の場を天職とし、大丸を退社して独立、山川デザインを設立、モロゾフや大阪ガス等、いろいろな専門店の社主や経営者と交誼されて輪を広げ、仕事は多忙で、グラフィックや商品開発迄、多くの新しいセンスで仕事をやってこられました。JCDも当時の関西本部の役員から全国組織の副理事長迄、その大役をはたされましたが、持ち前のキャラクターで人より一倍何ごととも強くアピールされ、それが、突破口や壁になるなど、事業や管理やクリエイター、デザイナーとして夫々の立場に立って自己主張を行動で通されたことは立派だと思います。私も、戎橋の上で激論したこともあり、JCDの先輩としておつきあいして参りましたが、時として楽しく酒を飲み、語らい、そして好きな絵をかいたり、先生のキャラクターから何かを学ぼうとしました。

大正時代の方々の一徹な気骨さを知り、そしていつまでもお洒落で、センスアップで、女性にやさしく、小説や映画からの引用も楽しく聞くことができました。朝は一人で大川のほとりをジョギングし、犬と競争したり、



山川勝彦 個展(周防町・都画廊にて
昭和63年10月15日)



一刻も早く事務所へ出勤されていきました。私も時折、道頓堀で出勤時に、お会いしたり早朝の御堂筋で水道の水で強く歩道や店舗前の汚れを流している人達に、水の無駄使いをおっしゃっていたことも昨日のようです。元気で若いイメージから急に倒れられ再びお目にかかれなくなるとは本当に信じられません。奥様から葬儀や告別式のご相談やお手伝いの中でご協力できたことをせめてもの心のやすらぎをおぼえます。

「お前は寺の僧侶の子だから、僕が死んだら立派な戒名ぐらいつけてくれ！」と、お酒の上で冗談にも度々おっしゃっていました。

僧籍のない私には不可能なことです。早春の3月10日ぬけるような青空の日

「陽春院勝覚明道居士」という戒名をもって天国へ旅立たれました。白菊の花を一つ棺の中に入れ最後のお別れをした私は、寂しさの一つ重ねる無常を知った春の一刻でした。

合掌

「山川先生の思い・孤独の闘い」

要 信行

青く澄み渡る空。梅雨の一時の青い空を仰ぎ見るとき、私の心に山川先生に接した17・8年の日々が、夏雲のようにわきあがってくる。

JCD会員になって、初めての委員会担当になったときの担当理事であった。自己の理にあわないことには断固として闘いを挑んで行く。ある時は人の意見など何処吹く風…。新入会員の小生など足のすくむ思いであった。

しかし、出会いを重ねるたびに、子供の頃の話、学生時代の話、戦争そしてシベリアの抑留時代の話、帰国後の激動時代の話そして事務所を解散され一人での孤独との闘いの話等々…。いつの頃からか、ともに酒を飲み交すことになり、思いのなかでの曲折の日々に、楽しかったこと、悲しかったことそして日々明るく生きることを語って下さった。

そのような中で、人の温かき、心に触れた時、大粒の光るものが頬を伝うのを目にしたことが幾度かあった。足のすくむ思いの出逢いから、人間山川勝彦に触れる機会がどれほどあったか。いく

つもの峠、また峠を上りつめる山坂の険しさ、行く手を阻む出会いを潜り抜け乗り越えてこられた人生に、感銘をも受ける今日近頃であった。

入院され、最後の手紙となった2月5日付のお手紙の中に、「今後は、謙虚にして謹み深く残りの何年かを暮らします。…。酒は生涯飲めません!!」と締めくくられていた。

夢を追い、いつも夢を見つめておられた先生。

「あの世とやらにも、ええ酒があるでエ」なんて、聞こえてくるような気がする。

「露と落ち 露と消えゆく我が身かな 浪速のことは 夢のまた夢」太閤さんの辞世の句を思いだし、露が酒に、酒が涙にかわっていくような気がしてならない。

「別れとは片手をかざす秋の風」なんて句をさらりと述べ、夜風を頬に別れた日々…。

本当に有難うございました。

「人々の名は消えて 楽しいことのみ思い出す 大阪の恋しい人に 心しきり」

合掌

——委員会だより——

第76回 J.C.Dゴルフコンペ

5月25・26日に鳥取県三朝カントリー倶楽部に
て2日間 2,5ラウンドで競われ磯崎敏男氏〔日
建店舗〕が優勝 お疲れ様 記 磯崎敏男

| ENTRANTS | OUT | IN | OUT | IN | IN | GROSS | TOTAL H-D | NET | RANKU |
|----------|-----|----|-----|----|----|-------|-----------|-------|-------|
| 磯崎 敏男 | 43 | 43 | 39 | 43 | 46 | 214 | 37.5 | 176.5 | 優勝 |
| 赤松 良一 | 50 | 50 | 49 | 41 | 50 | 240 | 55 | 185 | 2位 |
| 東 亨 | 49 | 47 | 42 | 49 | 53 | 240 | 45 | 195 | 3位 |
| 加藤 徹彰 | 45 | 52 | 44 | 48 | 48 | 237 | 40 | 197 | 4位 |
| 足立多次郎 | 56 | 63 | 56 | 58 | 55 | 238 | 90 | 198 | 5位 |
| 藤山 利夫 | 48 | 48 | 50 | 48 | 46 | 240 | 35 | 205 | 6位 |
| 大田 貞 | 53 | 47 | 57 | 57 | 48 | 262 | 55 | 207 | 7位 |
| 高田 博允 | 56 | 56 | 52 | 52 | 56 | 272 | 62.5 | 209.5 | 8位 |
| 植添 俊一 | 48 | 49 | 49 | 48 | 53 | 247 | 35 | 212 | 9位 |
| 藤永 肇 | 62 | 65 | 56 | 60 | 71 | 314 | 90 | 224 | 10位 |

研究開発委員会 平成2年3月12日(月)

- 理事会報告、各種行事、会員行動アンケート

研究開発委員会 平成2年5月7日(月)

- 報告事項、委員会活動方針意見交換

組織委員会 平成2年3月12日(月)

- 常任理事会、全国理事会、関西支部総会について

組織委員会 平成2年3月30日(火)

- 全国理事会及び関西支部集会の件、その他

情報委員会 平成2年5月15日(火)

- JCD KANSAI編集方針検討、22号編集内容

編集後記

情報委員会の新しいメンバーになって第一号のJCD KANSAIの編集を担当した。経験者のいない状態でたゞたゞ当惑するばかり、幸いにも前任の太田氏、菅野氏の指導を受け助けられやっと出来た、ほっとしている。内容も諸先輩のご協力も頂き、充実した内容の22号になったと たゞ感謝 S.O



創造空間、新時代。

さらに進化した、スーパー ロジック タイル システム。

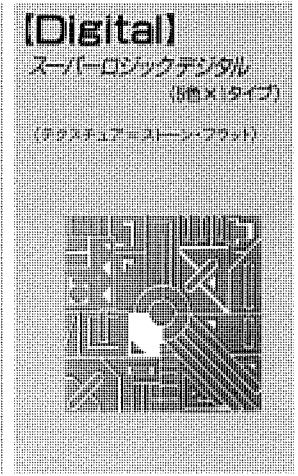
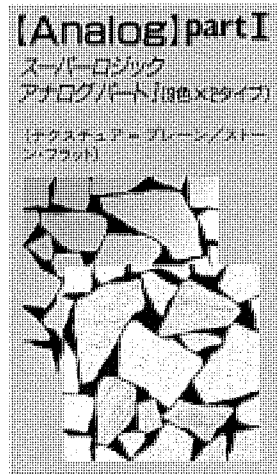
SUPER LOGIX

塩ビ床タイル

新製品スーパーロジックが、フロアデザインをさらに前進させました。

- ロジックタイルからセレクトされたベースカラーにより、石目のアナログタイプ2種類、斬新なデジタルタイプ1種類、誕生。
- ベースカラーがロジックタイルからセレクトされているので、ロジックタイルとのデザイン張りが自然です。
- 46×6×18×7×5×9=1,564,920通りの組み合わせが可能です。カラー×テクスチャ×ストラクチュアで、イメージを確実に表現できます。

※スーパーグリッターも同じコンセプトで開発されています。



| | | | |
|---------------------------------------|-----------|--------|------------------------|
| スーパーロジックアナログパートI スーパーロジックアナログパートII | ■価格(1㎡当り) | ¥7,480 | ■サイズ(mm) 457.2×457.2×3 |
| スーパーロジックデジタル | | | ■1カートン当り数量 16枚(約3.34㎡) |

Super Logix Tile System

スーパー ロジック タイル システムは、カラー、デザイン、テクスチャを自由自在に組み合わせできる、21世紀のフロアデザインシステム。柔軟な発想から生まれた画期的なコンセプトが、商業空間を進化させます。

1. Super Color Logix

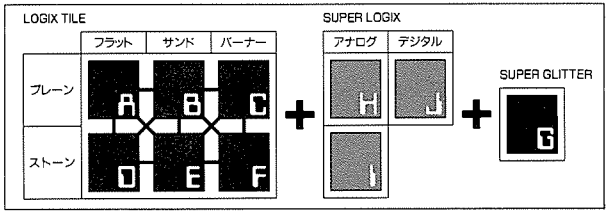
共通の色番号によるタイプ別使用。ロジックタイルの色対応。

2. Super Design Logix

無限のデザイン性、ロジックタイルのベースカラーを使用。

3. Super Cross Over Logix

表面特性/構造特性 Design by Super Logix Tile System A, B, C, D, E, F, G, H, I, J.



本店 神戸
支店 札幌・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡
営業所 仙台・埼玉・千葉・静岡・金沢・京都・岡山・高松・熊本・鹿児島

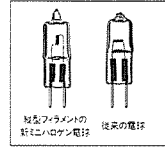
お問い合わせ・カタログ請求は
近藤忠商事株式会社建築販促部まで。
東京 03-294-1491
大阪 06-201-2341

Nashop

A&I
快適を科学します

ハイパワーで高品質な光を
体積比1/3のコンパクトボディに搭載。

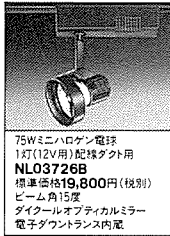
光はパワフル&高品質に、
器具はより小さく、店舗
演出の最新トレンドに
ナシヨップが応えます。



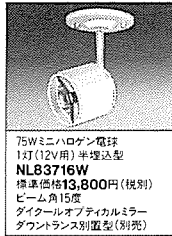
従来のフラメンタの
75Wミニハロゲン電球
従来の電球

新開発縦型フィラメント

採用の新ミニハロゲン電球とマルチデザインプル
ミラーで照度を約25%アップしながら体積は
約1/3にコンパクト化(従来の電球の約1/3)。同時に、
フィラメント軸とミラー光軸の一致が、かつて
ない美しいパターン配光も実現。さらに電球・
ミラー分離設計で経済性も向上。デザインや
ビーム角で選べる236品種が気に登場しました。



75Wミニハロゲン電球
1灯(12V用)配線ダクト用
NL03726B
標準価格19,800円(税別)
ビーム角15度
ダイケールメッキフィラメント
電子ダウントランス内蔵



75Wミニハロゲン電球
1灯(12V用)半埋込型
NL83716W
標準価格13,800円(税別)
ビーム角15度
ダイケールメッキフィラメント
ダウントランス別置型(別売)

■詳しいカタログを差し上げます。

●お申し込み先
Nashop
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
Nashop Building 1000001-101



National
松下電工

ローボルトシリーズ ミニハロテック

